

2017 年度

韓国コース派遣留学報告書

実習先:慶熙大学校

実習期間:9月5日(火)~12月28日(木)

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号:21016077
田村千怜

目次

1	留学先及び留学期間.....	3
2	留学先概要.....	3
3	留学目的.....	3
4	留学内容.....	4
4-1	留学のスケジュール.....	4
4-2	留学の詳細.....	5
5	所感.....	6
6	おわりに.....	7
	謝辞.....	7

付録

	留学日誌.....	8
--	-----------	---

1 留学先及び留学期間

留学先: 韓国慶熙大学

留学期間: 9月5日(火)~12月28日(木)

2 留学先概要

(1) 大学について

キョンヒ大学は、現在受験戦争が巻き起こる韓国の中で名の知れた名門私立である。学部は100以上存在しており、キャンパスは3つだ。語学堂はソウルキャンパスにあるが、そこはソウル特別市東大門区回基に位置する。ソウルキャンパスは韓国でも特に綺麗で有名だ。山を切り崩して作っているため急な坂が多いが、軽い登山や紅葉が楽しめる。語学堂は韓国語教育において世界的に成功しており、外国人教育に適した有能な先生が多い。

(2) 大学で行われている教育について

世界各国、様々な学生が多い。語学授業はレベル別であり、初級・中級・上級とある。またその中にIとIIとあり、午前・午後で構成されている。授業は基本韓国語である。(初級のみ英語の説明文あり)文化授業はバラエティに富んだ授業が用意されている。ネイティブや日本語が可能な先生も複数名おり、学業や生活に悩みが出た場合、相談やアドバイスを受けることができる。

3 留学目的

参加学生は、韓国文化を感じると共に、韓国でしかできないことを後悔がないようにしたかった。具体的には外に出て遊ぶことや、経験を通して自分らしく文化研究をすることであった。韓国語をたくさん使用しながら文化交流において、世界各国の人々の考え方を知り自分の世界を広く持つことだった。韓国語の勉強面では、レベルに合った内容を学び努力する事と TOPIK 取得準備をすることを目標とした。

4 留学内容

以下から研修の内容を記述する。
 研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
	5日(火)	出発	入寮、周辺散策
	6日(水)	入校式、実力テスト、オリエンテーション	
	7日(木)~ (3週)	授業開始(初級Ⅰ復習)	文化授業(曜日別)
	14日(金)	現地研修(国立中央博物館、NANTA鑑賞、南山タワー)	
9	16日(土)~11月25日(土) (毎週土曜、朝~昼)	国立国学院(チャング授業)	
	25日(月)	語学授業、昇級テスト(書き、面接) 語学授業(3週過程終了)	文化授業
	26日(火)~	正規過程開始(中級Ⅰ文法授業) 入校式	文化授業
	27日(水)	文法+日替り授業	文化授業
10	2日(月)~6日(金)	秋夕(お盆休み7日は除く)	
	12日(木)	授業	ハングル大会
	2日(木)、3日(金)	中間考査	
11	6日(月)、7日(火)	現地学習(雪岳山)	
	28日(火)	語学授業	JUMP鑑賞
	29日(水)	語学授業、期末考査(話す)	
	4日(月)	語学授業、期末考査(書き)	
	5日(火)	期末考査(文法、読み、聞き)	
	8日(金)	正規過程終了式	
12	11日(月)	TOPIK 授業開始	
	21日(木)	授業、終了式	文化授業
	22日(金)	セミナー発表	
	23日(土)~27日(水)	自由演習	
	28日(木)	帰国	

4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)初級Ⅰクラス(3週)

参加学生らのレベルに合わせたクラスだ。初級と言ってもその中にもレベルがあり、入門から日常会話まである。筆記と面接の結果、本校で習った内容の復習を行うことになった。

ii)正規過程(中級Ⅱクラス、午前)

個人のレベル別クラスに入った。(筆記、面接に合格した者のみ1つ程度の飛び級が可能)参加学生のみ合格したため単独で中級Ⅰになった。初級、中級、高級がありその中でもⅠ,Ⅱクラスがある。規模が大きいので午前、午後に分かれている。参加学生に至っては世界7ヶ国が集まるクラスであった。初級では韓国人が日常的に使用する十分な会話が学べる。中級からはより発展した専門用語などを用いた授業だ。

iii)TOPIK 授業(2週)

本校用の特別授業として行われた。実際に TOPIK の問題を作成したこともある先生が指導にあたった。短い時間だったが色濃い内容であった。

iv)特別講義

毎回違う指導者から様々な韓国文化について学べる時間だ。韓国語の面白さや歴史、大衆文化だけでなく幅広い。K-POP の成り立ちは作曲家の方から実際に教わった。韓国式書道テコンドー、ダンスなど実際に体験する時間もあった。

v)セミナー

食事のマナー、居住文化、集団文化など学び確認として発表を行った。

実際に日韓比較を各自韓国生活で抱いた疑問など興味があるテーマを決めた。両国 20 人程度にアンケートを行い、10 枚以上の PPT を作成、発表した。

vi)映画

様々な映画とドラマを字幕なしで見た。ドラマは 1 話のみだ。その間に授業的な内容が 4 割程度含まれる。

vii)歌

一人一人自分の好きな歌について、PPT と日本語訳を作成して発表した。毎回、歌の題材から引き出された質問が出た。曲を聴いて歌詞聞き取りをした後、確認して歌った。

viii)ハンゲル大会

授業の一環として参加した。外国人留学生らが、字の美しさを競う大会だ。結果を待つ間のゲームでも様々な景品が用意されていた。

ix)現地学習

学期毎に行われる修学旅行に似たものだ。級毎に雪岳山に行き登山をする。秋学期で運が良いと、山では紅葉が楽しめる。ホテルではレクリエーションを行った。ゲームの他、個人的に歌やダンスを披露する場もある。

x)テスト

文法、話す、読み、聞き、書きに分かれている。話すは、授業で習った文法や言い回しを組み込んだ個人面接と 2 人 1 組で行う創作演劇であった。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)韓国文化を肌で感じること

日々の生活や文化授業など全てが感じ、考え、学ぶ良い機会であった。十代の貴重な時間で今までの生活域を離れたことは自身の内面に大きな影響をもたらした。

ii)文化交流

多国籍クラスではあったが、一人も欠けることなく国を越え関わった。韓国語でクラスメートやその友達など、世界各国の仲間と積極的に関わっていった。互いの文化や考え方を実感する貴重な体験であった。授業中のクラスの雰囲気はとても意欲的で良い刺激になった。実際に、先生方の間で評判となる程であったと聞いた。日本でありがちな、出る者が負ける雰囲気とは真逆であった。参加学生はその空気に後押しされ、伸び伸びと学習することができた。また、クラスは成績トップであった。

iii)本格的な勉強・TOPIK 取得準備

自身のレベルに合った勉強をする事が希望であったため、昇級テストに合格した事は第一歩であった。また、クラスを移る事によって惜しみなく努力ができた。過去問を解いて手応えを感じる程の実力がついたことを実感した。これからは、TOPIK 授業で習った事を踏まえて、実際に挑戦する。

6 反省・課題

正規過程で国際交流ができたので、そこで知ったリアルな考え方や文化を今後生かしたい。この貴重な時間を共にした、世界各国の友達とはこれからも交流を続けていくつもりだ。勉強面では今までの知識をもって実践に移すことにより、手応えや学んだ点が多かった。満足がいく程の努力もできた。尚、習ったことは TOPIK といった結果でも残していきたい。今後も留学時と同じく、熱意を持って勉強を続けていくのが目標だ。

謝辞

今回、キョンヒ大学国際教育院にて、新潟学生の留学担当をしたパクソニョン先生、正規語学クラス担当のキムスルギ先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の留学担当者で各種活動への指導

を賜りました、申先生には心より感謝いたしております。最後に、新潟国際情報大学の制度と奨学金があったことにより、在学中にも関わらず留学に踏み切ることができました。

付録: 留学日誌

9月5日 火曜日

出発 新潟空港 到着 仁川空港

引率者 申先生、パクソニョン先生、林りな先生

内容

- ・新潟空港集合
 - ・新潟空港発 仁川空港着
 - ・入国審査
 - ・仁川空港から学校のバスで寄宿舎まで移動
-

移動の所感

長期の準備により、留学生活が始まる実感がなかったが、寄宿舎に着いた途端に疲労と共に不安が押し寄せた。寄宿舎の説明を受け周辺を回った後、ルームメイトと共に、生活用品を買った。荷解きをした。

9月6日 水曜日 初登校

国際教育院 2階

新潟学生担当 パクソニョン先生、クオンスヒョン先生など

初日

- ・入校式
 - ・実力テスト(筆記、面接)
 - ・オリエンテーション
-

初日内容

朝から急な坂や階段に驚いた。本校参加学生らの授業内容を決めるため実力を図った。参加学生は一人だけ差があったが、正規過程の終盤で秋学期が始まる前に入るクラスがなく皆と同じ初級Ⅰを受ける事となった。生活において知らない事や覚えるべき事が多かった。

9月7日 木曜日~(3週) 授業開始

生活科学大学 607号室

クォンスヒョン先生、イムジウン先生

授業内容

・初級Iクラス開始

クラスの具体的内容および

テストより全体の間違えやすい部分が浮き彫りになったので、習った内容の復習がメインであった。参加学生らとの授業であったため、日本での授業と大きく変わらなかった。昼食時間が日本よりも遅く短めであった。

9月25日 月曜日

生活科学大学

授業担当 クォンスヒョン先生、イムジウン先生 面接官

1日の内容

- ・語学授業
 - ・希望者のみ休み時間に昇級テスト(論述、面接)
 - ・語学授業(3週過程終了)
 - ・文化授業
-

テストの内容

初級クラスで実力を持て余していたため、先生に勧められて受けた。級を移らなければ10万円程度の奨学金を受けることが目に見えていた。しかし、勉強をすることが目的であったためテストを希望した。結果、1人だけ受かって移ることとなった。あがり症なため面接では存分に実力が発揮できなかったが、文章はよく書けていたので合格できた。判断基準としては、勉強期間の長さや(ネイティブが感じる上手さが重要と言うよりは)文法の正確さなどが求められていた。

9月26日 火曜日 正規授業開始日

クラス担任 キムスルギ先生

ネオルネサンス館 B-204

研修内容

・クラス発表、教科書交換

- ・顔合わせ、授業
 - ・入校式
-

クラスについて

クラスメートとは初対面であった。はじめに日本人の女の子達と仲良くなった。先生とは新潟について話した。初日居た全員の名前を覚えてた。ある程度仲良くなる事ができたので安心した。初日であったが、時間がないため授業が行われた。内容は一気に難しくなった。発言が積極的でスピードが速く良い刺激を受けた。

10月12日 木曜日

ネオルネサンス館 B-204、セジョン大王記念館

キムスルギ先生、パクソニョン先生など

1日の内容

- ・授業(文法、読み)
 - ・ハングル大会
 - ・クラス会
-

ハングル大会所感

クラスで募集がかかった時は自身の字に対して自信がなかったため申請しなかったが、授業の一環として参加することとなった。6割書いた時点で失敗したため、時間が押したので少し残念なまま出す事となった。期待はしていなかったが、名前を呼ばれた時は驚いた。参加賞にパン2つとコーラの他ゲームや運試しにも景品が多数用意されていた。

11月2日 木曜日、3日 金曜日 現地学習

雪岳山

引率者 キムスルギ先生他中級担当者

現地学習内容

- ・雪岳山登山
 - ・レクリエーション
 - ・江陵観光
-

具体的内容および所感

現地学習は、級毎に別な日程であったため新潟の皆より一足先に登った。紅葉が綺麗な状態で残っており、丁度良い程度に暖かい天気であった。基本的に歩きやすかったが、途中足元が滑りやすい場所もあった。お昼に行った食堂へ帰りも寄ったのは驚いた。道の駅も含め店と言った店はなかった。ホテルに戻った後、レクリエーションをした。ダンスが趣味であることをクラス全員が知っていたため、推しに負けサイファーをすることとなった。全て終わった後にお菓子パーティーをした。クラスは仲がとても良かったため、皆で部屋に集まって UNO を楽しんだ。ルールを説明することはもちろん、ゲーム中は早口になるので良い韓国語練習になった。

11月6日 月曜日、7日 火曜日 中間考査

ネオルネサンス館 B-204

中級担当教員

テスト項目

- ・文法、読み、聞き
 - ・書き 200と600字の作文
 - ・話す 個別面接、創作スキット
-

テストの所感

6時間授業と毎日の宿題、そして予習からの課題や発表準備、買い物と家事を全てこなした上でのテスト勉強であった。1人だけ不利な状況ではあったが諦めず、奨学金を目標に勉強をした。1週間前からは、韓国スタイルでクラスメートとカフェで勉強会をした。そして戻ってからも、寝る時間を削って熱心に取り組んだ。反省点はストイックさから来る過食と寝不足で健康を蔑ろにしたことだ。テスト結果は基本的に良かったものの、難しいとされる話すの結果が思うようでなかった。この反省を踏まえて次回のテストで挽回できた。

11月28日 火曜日 テスト前日

ネオルネサンス館 B-204、明宝アートホール

語学授業担当者 キムスルギ先生など 引率者 林りな先生

授業及び公演内容

- ・語学授業(文法、聞き)
 - ・4時に駅集合
-

・5時からミュージカル JUMP 鑑賞

具体的内容および所感

日程は初級に合わせており、1人だけテスト前日という気の重い状態で観ることとなった。現地研修で見たNANTAと同じジャンルの言葉がいないアクロバティックなものであった。回基に再び戻った頃はもうすっかり夜であった。

12月11日 月曜日~(2週)TOPIK 授業開始

国際教育院 203号室

TOPIK 授業担当 キムセファ先生、ファンヘスク先生

授業内容

- ・TOPIK 説明
 - ・TOPIK 過去問(文法を含む聞き、読み)
 - ・チェック、説明
-

TOPIK 授業の具体的内容および所感

TOPIK についての説明が行われた。初日から早速 TOPIK I の過去問を用いた腕試しが行われた。TOPIK I の聞き、読み共に満点であった。個人共に全体も、これまでの授業のおかげか先生の予想より点数が良かった。

12月21日 木曜日 修了式

国際教育院 2階

国際教育院院長、新潟学生担当一同

終了式内容

- ・TOPIK 授業
 - ・院長の言葉
 - ・終了の所感発表
 - ・終了証書授与
 - ・成績優秀者表彰(奨学金授与)
 - ・団体写真撮影、個人撮影
 - ・文化授業
-

終了式と受賞の所感

修了式では成績優秀者として表彰された。結果は、良くも悪くも3位であった。一人だけ別なクラスであったが、努力の甲斐あって成績は良かったからだ。圧倒的不利の中での嬉しさ反面、実質 1 位な分やるせない気分であった。代表として立った終了の所感発表と成績について、先生方や院長からお褒めの言葉を頂戴した。最後に単独で写真撮影を行った。

12月22日 金曜日
国際教育院 203号室
教員名 パクソニョン先生、キルジス先生
セミナー内容
・セミナー発表
・コメント

セミナー発表の所感

参加学生ら計 15 名が、自ら調査したことについて発表した。参加学生は日韓(韓日)大学生の海外旅行についての実態を調査・比較をした。調査結果を扱う時は、日常会話で使わない言い回しであるため、難易度が高かった。しかしながら、中級で扱う文章では大いに取り入れられていたため助けとなった。実践をしたことで、学習内容を取り込む事ができたと思われる。比較であるにも関わらず差と言う結果を見出せなかった。しかしながら、一連の結果から両国の類似性に辿り着くことができた。

12月23日 土曜日~27日 水曜 休日と自由演習
東大門 新堂 仁寺洞 回基他市内
帰国まで
・友達とそのトウミでランチ
・中国の友人宅でホームパーティー
・中国人 4 人とチムジルバン(韓国式健康ランド)
・買い物ついでに観光
・語学クラスで送別会
・荷造り等の帰国準備

など

個人的な過ごし方

1日6時間授業から課題と発表、テストに追われた毎日から解放された。自由演習は毎日韓国でできた大切な仲間と過ごした。帰国する直前には、クラスで集まった。中国人のお姉さんはお別れ会に来る事ができなかった。しかし、夜に寄宿舍へメッセージカード付きのプレゼントを持って来てくれた。極寒の中走って届けてくれた事は感動であった。こうして韓国での留学生活を終えた。

~キャンパス~

